

2024年3月25日

報道資料

パイオニア製プレミアムサウンドシステムが LEXUS 新型「GX」に標準装着 ～トヨタ自動車が優れた技術を持つサプライヤーを表彰する「CE 特別賞」も受賞～

パイオニアのプレミアムサウンドシステムが、LEXUS の新型「GX」(2024 年国内発売予定)の標準装着システムに採用されました。また当社は、優れた技術により同車両の商品力向上に貢献したサプライヤーとして「LEXUS GX プロジェクト表彰 CE^{※1} 特別賞」を受賞しました。



本システムは、当社が長年培ってきた車載音響技術に加え、ハイエンドオーディオブランド「TAD」^{※2} の技術を応用して改良を重ねたスピーカーユニットを採用。当社の長年のノウハウを活かし、車両構造においてサブウーファーに最適なボックス容積を確保することで軽量・省スペース化を実現するとともに、正確で力強い低音を再生し、洗練された音響空間を創出します。今回、新型「GX」にふさわしいハイクオリティサウンドの実現に加え、限られた車室内スペースへのサブウーファーの搭載を可能にした高い技術力がトヨタ自動車株式会社に高く評価され、「CE 特別賞」の受賞に至りました。当社のサウンドシステムが同社に表彰されるのは、2019 年の「LEXUS ES プロジェクト表彰 CE 特別賞」に続いて 4 度目となります。

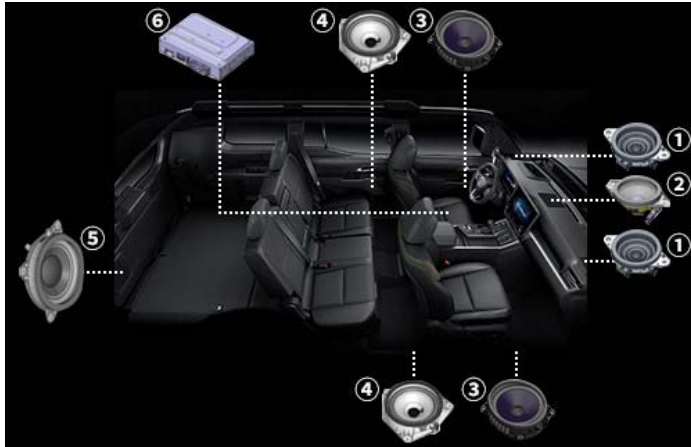
※1 CE: Chief Engineer

※2 パイオニアの 100% 子会社である株式会社 テクニカル オーディオ デバイセズ ラボラトリーズ (TADL) が展開するブランド。その製品は 1978 年に米国で発売されて以来、プロフェッショナル用スピーカーユニットとして世界の著名な録音スタジオに採用されるなど、高い信頼と評価を得ています。<http://tad-labs.com/jp/>

【LEXUS 新型 GX「プレミアムサウンドシステム」の概要】

明瞭な音像定位とあらゆる環境下で高音質再生を実現する 10 スピーカー、8ch Class-D アンプで構成されるサウンドシステム。

本格オフロダーの力強い走破性にシンクロするパワフルな低音再生と洗練された音響空間を創出します。



①インパネサイド	9cm CST※	× 2
②インパネセンター	9cm Midrange	× 1
③フロントドア	18cm Woofer	× 2
④リアドア	16cm Full range	× 2
⑤バックドア	20cm Sub-Woofer	× 1
⑥8ch Class-D アンプ		× 1

※CST : Coherent Source Transducer の略。

TAD で培った技術に基づいて開発された1つの筐体に 2 つのスピーカー(ミッドレンジ+トゥイーター)を内蔵したユニット。



【LEXUS GX — CE 特別賞】